メディア倫理

科目ナンバリング　SOC-317
選択　　2単位

田所　承己

1. 授業の概要（ねらい）

この授業は「メディアの社会学」応用編です。メディアをめぐるさまざまな現象や問題を社会学的に理解する力を高めるため、音楽、ストリートファッション、海外旅行、ニュースキャスター、ソーシャルメディア、モバイルメディアなどを素材に、多様な社会学的分析の手法を学びます。最終的に、自分なりの「問い」と「仮説」を立て、オリジナルな手法を用いてメディア分析を行うことができる力の習得を目指します。

そのために、講義スケジュールは大きく3つのパートから構成されます。(1)音楽、ファッション、雑誌、書籍、テレビなどメディア文化に関する個別の事例分析を通して、分析方法を学びます。(2)メディア表象に関する諸問題をいかに理解するか、具体的事例を通して学びます。(3)ネット社会に関する諸問題をいかに理解するか、その理論的解釈方法を学びます。

この授業では、受講生の主体的思考を促すため、授業中にリアクションペーパーを記入してもらい、それを授業内で発表してもらったり、それを引き受けて即席のディスカッションを行うことがあります。

2. 授業の到達目標

(1) 任意のメディア事象に関して、自分なりの「問い」と「仮説」を立てることができる。
(2) 任意のメディア事象に関して、自分なりのオリジナルな手法を用いて分析することができる。

3. 成績評価の方法および基準

・リアクションペーパー：40%
・小レポート：60%

4. 教科書・参考文献

参考文献
石田佐恵子・岡井崇之編　『基礎ゼミ メディアスタディーズ』（2020年）　世界思想社
成実弘至編　『コスプレする社会』（2009年）　せりか書房
山口誠　『ニッポンの海外旅行―若者と観光メディアの50年史』（2010年）　筑摩書房
イーライ・パリサー　『フィルターバブル――インターネットが隠していること』（2016年）　早川書房
※その他、毎回参考文献は各授業ごとに紹介する

5. 準備学修の内容

・各回の授業内容に即したリアクションペーパーの記入
・課題小レポートの作成（2回）

6. その他履修上の注意事項

・授業計画は、受講生の関心や社会情勢によって適宜変更します。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　音楽環境の変容
【第3回】　身体メディアとストリートファッション
【第4回】　若者の海外旅行とメディア
【第5回】　文化の流通①
【第6回】　文化の流通②
【第7回】　テレビニュースと感情共同体
【第8回】　中間まとめ
【第9回】　メディアと障がい者
【第10回】　フェイクニュース
【第11回】　外国人選手の報道
【第12回】　ソーシャルメディア依存と近代的自己
【第13回】　モバイルメディアと儀礼的無関心
【第14回】　ネット社会とエコーチェンバー
【第15回】　まとめ